

令和1年度 事業所評価
利用者アンケートの結果を受けて

4名中3名の回答

過去一番に利用者数が少ない状況、かつ、過去最低の評価となっている。

利用者の層は、昨年より独居の方が多く、又、当社のサービスから重症化により移行された方で、遠方の親族に電話で説明したため、契約時も省略した面が多かったと反省される。

スタッフ間では、質の変化はしていないと思っているが、やはり作業になっている面も多いのではないかと自己反省がある。

利用者の変化に気づき臨機応変に「その日、その時」に必要な支援（過介護ではなく）を行い、ケアマネジャー（時には看護師など）と話し合い、サービス内容の見直しなど振り返る必要があると思われる。

介護度に変化が生じたときは、本人や家族とも細かな部分までの打ち合わせを行い、了承を得る必要性をさらに感じた。